

更に來贈する歌二首

四一三二番

縦たさにも かにも横よこさも 奴やつことそ 我あれはありけ  
る 主ぬしの殿戸とのどに

四一三三番

針袋はりぶくろ これは賜たまりぬ すり袋ぶくろ 今いまは得えてしか  
翁おきなさびせむ

宴席に雪月梅花を詠む歌一首

四一三四番

雪ゆきの上に 照てれる月夜つきよに 梅うめの花はな 折おりて送おくらむ  
愛はしき児こもがも

四一三五番

我わが背子せこが 琴取こととるなへに 常人つねひとの 言いふ嘆なげきし  
も いやしき増ますも